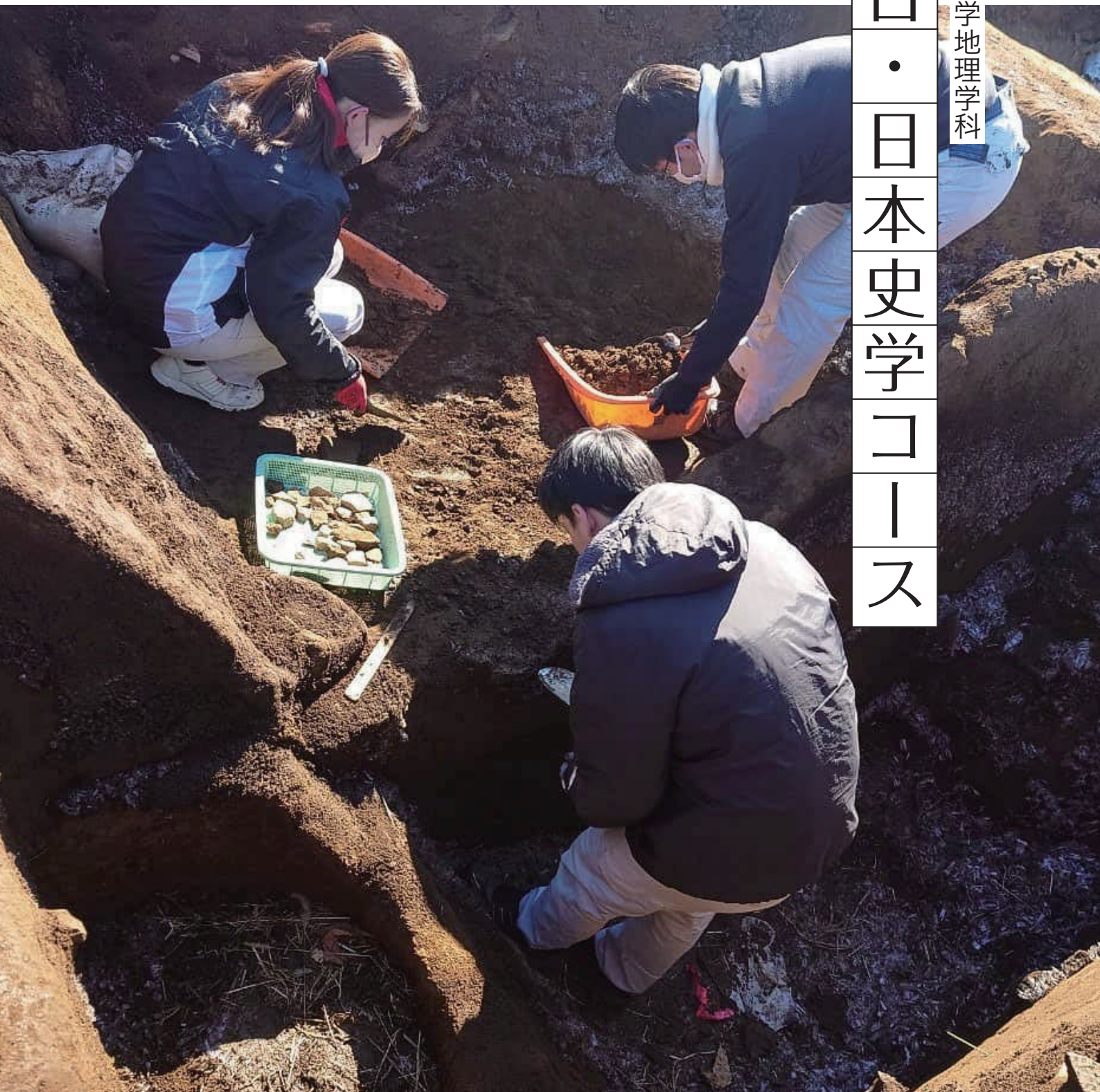


Faculty of Letters / Department of History and Geography

Major in Japanese History and Archaeology

文学部 史学地理学科

考古・日本史学コース



茨城県結城市 国史跡結城廃寺跡（奈良平安時代）における考古学実習



国士舘大学

Kokushikan

考古・日本史学コースって何をするの？

本物の古文書に触れ 自らの手で発掘調査を行う “**壮大な歴史の学び**”



学びの特色

他大学の史学科に比べて
次の点が大きな特色！

考古・日本史学コースは“本物”の史資料を用いて、深く歴史を探究していきます。歴史的なものの見方・考え方を身につけることは、とても大切です。狭い世界にとどまらず、多角的な視点から、物事を立体的に深く考えることのできる人材を育成することを、コースの目標としています。本コースには専門の異なる9名の専任教員が在籍しています。考古の世界から近現代史、東洋から西洋まで幅広い地域の歴史を学ぶことができます。ぜひ、歴史学の奥深さを体感してください。

POINT

2 専門性をより深める

1年次の「日本歴史」で通史を学び、2年次の「史・資料を読む」で、それぞれの時代特有の多様な史資料に触れます。3年次より時代・地域別のゼミに分かれ、より専門的に、各自のテーマを深めていくよう指導します。史跡や博物館など本物を学ぶ学外研修も行います。

POINT

1 1年次からの実践的な体験学

体験学習を重視し、1年次から発掘調査を行う「考古学実習」、本物の古文書にふれる「史料学実習」などの実践的な体験学習を設けています。貴重な遺物や古文書など学問の原点に接することで、歴史的な背景などを実習しながら深く理解します。

POINT

3 多角的な視点を歴史から学ぶ

一国史的なもの見方ではなく、グローバルな視点を持って歴史を考えられるように、外国史の教員も揃っています。また、民俗学、ジェンダー論、国際交流、文化、地域社会など、時代区分を超えた多角的なテーマを扱うカリキュラムも充実しています。



考古学実習

春と夏の長期休暇を利用して共同生活をしながら遺跡の発掘調査を行います。現場での学びを通して、実践的な遺構・遺物の調査力を身につけます。他ではできない本格的な学びを体験できます。



史料学実習

実物の古文書を用いて、保存・管理の方法からくずし字の読み方まで、実践的に学びます。江戸時代や明治時代の古文書を通して、まだ誰も知らない過去の“新たな発見”をめざします。

実践的な体験学習って何ですか？

考古・日本史学コースでは、1年生から考古学と史料学の実践的な体験学習ができます。本コースの特色ある科目について紹介していきます。



考古・日本史学コースには、ほかにどんな授業がありますか？



小川先生の授業「中国の近世と伝統文化」

宋代から清代の歴史とそこで見られる多彩で独特な文化について、江戸時代や朝鮮王朝とも比較しながら理解を深め、東アジアという視点から中国の近世と伝統文化の特色、そしてその背景に何があるのかを探究してゆく授業です。



石野先生の授業「近現代ヨーロッパ社会の変容」

第一次世界大戦～第二次世界大戦の戦後までのヨーロッパを対象に、戦争が生活・思想・芸術・科学技術、そして「記憶／アイデンティティ」に与えた影響を多角的に学ぶ参加型（アクティブラーニング）の授業です。

考古学とはどんな学問ですか？



Let's take a picture!



人類の活動痕跡である「もの」「あと」から歴史を紐解く「考古学」。地中に埋まっていることが多く「発掘調査」が行われます。その遺物や遺構は、無言の歴史資料とも呼ばれ、そこから何を導き出すことができるのか、歴史学の中でも独自の研究方法が発達しています。

大学において、初めて本格的に学ぶことができる「考古学」。本学では講義と共に文学部創設以来60年続く「考古学実習」を実施しています。

全国の遺跡を舞台に院生と学生40数名が学校公民館などの公共施設で3週間ほど生活を共にします。卒業生は、文化財の調査、研究、保護・活用に従事するもの、一般企業に進むものなど多様ですが、ここで培われた「協調性」「責任感」を大いに発揮し活躍中です。

ここでの学びには、学問の専門性はもちろん、人間的な成長の場が広がっています。

4年間の流れ

1年

考古学・歴史学の基本的な知識と、幅広い教養を身につけます。

授業例)「日本史学の基礎(前近代)」「日本歴史A・B」

2年

考古学・歴史学をより深く学ぶために、時代ごとの史料の読み方を身につけます。

授業例)「考古資料を読む1」「近代史料を読む1」など

3年

ジャンル・時代・地域別の講義や、少人数ゼミナール(演習)で学び、探究をより深めていきます。

「考古学演習1」「歴史学演習1」(3年ゼミ)
「東アジアの中の日本古代」「都市鎌倉の中世史」「徳川幕府権力の展開」「近代日本草創期の歴史」「現代日本の政治外交史」など

4年

専門科目の学びを深めるとともに、学生生活の集大成である「卒業論文」にも取り組みます。

「考古学演習2」「歴史学演習2」(4年ゼミ)など

世田谷散策

新入生ガイダンスにおいて大学周辺の史跡・博物館を探訪します。

(世田谷区立郷土資料館、豪徳寺、松陰神社等)



歴史講演会 / 学外研修

学外の専門家を招いた講演会や学外研修も実施します。

(例: 国立歴史民俗博物館、東京国立博物館、国会図書館等)



3年生の研修旅行

学年全員で、卒業論文研修旅行をおこないます。

(例: 遠州龍潭寺、富士山世界遺産センター、多胡碑、富岡製糸場等)



在学生からのメッセージ

古文書が読める学校の先生をめざしています

私は、教員になりたいという思いと、古文書を読めるようになり、歴史に対する理解を深めたいという思いからこのコースを選びました。一年生から史料学実習を履修し、現在は日本近世史ゼミに所属して専門性を深めています。また、夢の実現へ向けて小学校、中学校、高等学校の教員免許の取得に向けて日々学んでいます。



コース3年 佐々木 耀さん

物事の本質を理解する力が武器になります

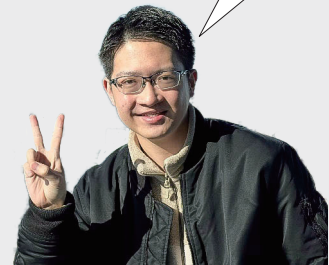
私はこの4年間で考え続ける大切さやものの見方を広げる面白さを知りました。本コースでは資料の分析と考察を続けることで、物事の本質を理解する力、多角的な考え方を身につけることができます。さらに先生方や学生達と考えを共有することで自分の認識を広げることができました。この力をどう活かせるか、卒業後も考え続けていきます。



コース4年 佐藤 美桜里さん

やっぱり夢はあきらめられない歴史の意味を知る

私は鉄道車両メーカーで働く傍ら経営学の短大に通っていました。そこで過去の事象から未来の問題を予測するのが社会人として重要だと気づき、歴史を学ぶため、図書館蔵書数の多さや外国史まで学べる利点のある国士舘大学への編入学を決めました。その結果、幅広い教養と思考力を得て歴史研究と社会人基礎力を鍛えることができました。



コース4年 香取 和秀さん



卒業論文タイトル例一覧

- 多摩川流域の古墳について
- 平安時代末期における地獄観
- 『平家物語』における平重盛像の史実との乖離
- 天明から寛政期の出版統制と地本問屋
- 奥羽越列藩同盟と長岡藩
- 高度経済成長期における国鉄の経営
- 台湾茶の歴史とその特色について
- 19-20世紀イギリスにおける住宅環境の変化

卒業論文って
どんなもの？

3年生以降は、少人数のゼミで、教員と学生とのコミュニケーションを深め、活発に議論や研究をおこないます。その成果として「卒業論文」をまとめます。



取得できる主な資格

考古・日本史学コースでは教員免許や資格などを取得することができます。大学で学んだ知識や技術を活かし、実際に中学校・高等学校の教員や、全国の博物館に就職して活躍している卒業生がたくさんいます。

教員免許：中学校教諭1種（社会） 高等学校教諭1種（地理歴史、公民）

博物館学芸員・**図書館司書**・**考古調査士**・**社会教育主事**

卒業生の主な就職先

※過去3年間の抜粋

公立・私立の学校教員

東京都立中学校／神奈川県立公立高等学校／神奈川県立小学校／横浜市立中学校／埼玉県立中学校／栃木県立公立中学校／北海道立高等学校／私立九里学園中学校・高等学校／私立山村学園高等学校／埼玉医科大学（大学職員）／筑波大学（大学職員）／女子美術大学（大学職員）…など

官公庁などの公務員

東京国税局／東京都庁／長野県庁／北海道庁／青梅市役所／秩父市役所／船橋市役所／富山市役所／射水市役所／群馬県警察本部／自衛隊（自衛官）…など

その他

（株）地域文化財研究所／（株）学究社／（株）USD（居住型教育施設）／ナカバヤシ（株）／北海道旅客鉄道（株）／日本交通（株）／（株）りそな銀行／世田谷信用金庫／かながわ信用金庫／湘南信用金庫／松本信用金庫／（株）京葉銀行／水戸証券（株）／信州うえだ農業（協）／（株）リクルートオフィスサポート／アディダスジャパン（株）／（株）コヤマドライビングスクール…など

卒業生からのメッセージ



2021年度卒／齋藤 葵 公益財団法人かながわ考古学財団

私は大学に入ってから考古学や発掘調査のことを知り、文化財に携わる仕事に就きたいと思ったのも大学4年生の秋頃で、自分のしたいことを知るのが遅かったと思います。が、卒業して好きなことが仕事になって今は充実した生活を送っています。周りの人たちが将来の夢に向かって進んでいく姿を見て焦ったりすることもありますが、回り道しながらでも色々なことを経験したり考えたりして、ゆっくりでも自分の興味があること・したいことを知るのもありだと思えます。

2023年度卒／宇高 美友子 埼玉県立さきたま史跡の博物館・学芸員

私にとって、国土館大学の考古学実習、そして研究室での日々が学芸員という将来をつかむきっかけになりました。同期だけでなく、先輩・後輩と様々な遺跡や遺物にふれたり、研究テーマと決めた遺跡に対して真剣に学び研究するという経験があったからこそ今の自分があると思っています。もちろん、大学では研究だけでなく、サークル活動や友人と過ごす時間もたくさんあります。やりたいことに挑戦できる貴重な期間だと思いますので、ぜひ国土館大学で充実した学生生活を送っていただければ幸いです。



2024年度卒／北光司 神奈川県立高校・教諭

神奈川県立の公立高校で地理歴史科・公民科教員として、「日本史探究」と「公共」の教科指導をしています。インプットとアウトプットを「生徒主体」で行う授業を展開し、生徒まかせの「生徒主体」ではなく、目的や意味を自分ごとに捉え、教員が伴走しながらともに課題解決に努めていけるようにしています。これらは、近世史ゼミでの活動から考えた授業スタイルです。考古・日本史学コースの「学生の学びに先生方が伴走して下さる環境」でぜひ学んでみてください。

教員紹介

眞保 昌弘 SHIMBO Masahiro

考古学（歴史考古学・考古学史）



先人が残した「もの」「あと」から歴史を紐解く考古学。さまざまな資料から歴史を学ぶこととなります。やがて私たちこそが歴史から学んでいることに気付かされます。そんな瞬間を共有したいと思っています。

仁藤 智子 NITO Satoko

日本古代史（飛鳥から平安時代の王権論・文化史）



古代は境界が曖昧なボーダーレスな社会。ヒトとモノの交流とせめぎあいのなかで初めての国家が生まれました。日本列島だけでなく、中国大陸・朝鮮半島など東アジアを視野に入れて、王・国家・制度・文化…モノの始まりを考えてみませんか。

秋山 哲雄 AKIYAMA Tetsuo

日本中世史（鎌倉幕府成立期から室町時代までの政治史・社会史）



中世には幕府が登場しました。幕府と朝廷では価値観がまるで違います。承久の乱のように上皇が鳥流しにされる時代なんて他にはありません。日本史だけでなく異文化接触の時代。二つの価値観が交わる時期を学んでみませんか。

夏目 琢史 NATSUME Takumi

日本近世史（17世紀から19世紀前半の社会史）



江戸時代の古文書には、忘れられた歴史がねもついています。150年以上前の忘れられた歴史を明らかにしていく作業は、“なぞ解き”そのものです。まだ誰も知らない歴史を“発見”する楽しさを一緒に味わいましょう。

齊藤 紅葉 SAITO Momiji

日本近代史（幕末から明治中期の政治外交史）



研究・授業では、史料を丹念に紐解いて、歴史を検討する視線を大切にしよう心掛けています。創造や「何となく」のイメージではなく、史料に基づいて歴史をみつめられればと考えます。

久保田 裕次 KUBOTA Yuji

日本近現代史（明治後期から昭和戦前期までの政治史・外交史）



現在の視点に立ったとき、近現代日本の歴史は最も近い「異世界」の一つです。くずし字や外国語の読解、図像資料の利用など様々なアプローチを用いながら、鋭敏な問題意識をもった学生と、「異世界」のありようを探求していきたいと願っています。

小川 快之 OGAWA Yoshiyuki

中国近世史（宋代から清代の社会史・文化史・法制史）



中国の歴史や伝統文化を知ることは、中華圏の人々と交流する際に有益なだけではなく、日本の歴史や文化の特色を深く理解することにもつながります。中国の多彩で面白い伝統文化の世界について楽しく学び、語り合しましょう。

石野 裕子 ISHINO Yuko

ヨーロッパ近現代史（フィンランドにおける文化と政治の関係史）



遠いヨーロッパの歴史も、実は日本の歴史や今の社会と関わっています。考古・日本史学コースで西洋史を学ぶことは、歴史を「比べて考える力」を身につけることにつながります。西洋史を手がかりに、世界の歴史の流れと日本とのつながりを学びましょう。

皆川 雅樹 MINAGAWA Masaki

歴史教育、日本古代史（日本古代を中心とした対外交流史）



「歴史を学ぶ意味とは何か?」「『日本』とは何か?」など、問いを持ちながら学ぶ場をつくりたい。私自身もこのような問いに基づき、歴史教育における授業内容および方法や「唐物」を主とした対外交流史について研究中です。

※各教員の紹介や著書については国士舘大学文学部のホームページをご覧ください。また、本コースが運営する国士舘大学史学会では学術雑誌『国士舘史学』を毎年刊行し、国士舘大学リポジトリ（アドレスは下記参照）で公開されています。

<https://kokushikan.repo.nii.ac.jp/>





国士舘大学 文学部 (教務課文学部事務担当)

〒154-8515 東京都世田谷区世田谷 4-28-1

TEL:03-5481-3231 FAX:03-5481-3328

<https://www.kokushikan.ac.jp/faculty/Letters/>

